

使い方ガイド

経済産業省のSCS評価制度★3の要求事項26件に沿った、委託先に送るためのチェックシートです。
送る→回収する→色で見る、の3ステップで、どの委託先のどこが弱いかが分かります。

キットの中身:①委託先に送るチェックシート(PDF) ②このガイド ③社内説明用スライド(PDF・10枚)

担当者のあなたにとって

このキットを使うと、委託先チェックで担当者が抱える手間と、個人で背負う心配が減ります。

これまでの手間・心配	このキットでは
設問を一から考える	経産省SCS★3の要求事項26件をそのまま使う。作る作業はありません
「この設問の根拠は？」と聞かれる	全設問に制度の番号つき。内容の妥当性を個人で背負いません
上司・情シス・購買への説明資料を作る	社内説明用のスライド10枚をそのまま使えます。よく聞かれる質問への答えつき
委託先の「どう答えれば？」に対応する	シートに相談先を載せています。問い合わせがあなたに集まりません
回収したシートを読んで判断する	判定早見表で、回答の書き方から色が決まります。主観で結論を出さずに済みます
結果を報告する	色分けの一覧1枚で報告できます

このキットについて

- ・ 土台:経済産業省「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度(SCS評価制度)」の★3 要求事項・評価基準(IPA公表、2026年3月27日版)
- ・ 作り方:1問＝★3の要求事項1件。その要求事項にある★3の評価基準をすべて確認範囲にしています(26問・評価基準81件)。独自の点数や格付けはありません
- ・ 判定しないこと:回答は、★3の取得や適合を判定・証明するものではありません
- ・ 見直し:IPAは評価用ガイドを2026年10月下旬に公表予定です。公表後に設問と番号を見直します
- ・ 作成:Moshiru(岡崎悠太)。無料で使えます。社内で自由に改変・配布して構いません
- ・ 利益相反:Moshiruは、同じ取引について発注側と委託先の両方からの依頼は受けません

使い方:3ステップ

1. 送る:「送付メール文例」に委託先名と回答期限を入れ、チェックシートを添付して送ります。重要な委託先には追加シート(任意)の回答も依頼します
2. 回収する:回答期限は送付日から2～3週間が目安です。未回答の委託先には、期限の3営業日前に一度だけ催促します
3. 色で見る:「判定早見表」で回答を赤・黄・緑に塗り分けます。赤の項目から、委託先と改善の時期を話し合います

判定早見表：回答を赤・黄・緑で見る

色は回答と根拠の書き方だけで決まります。点数や可否ではなく、委託先と何から話すかを決めるための目印です。

色	こうなっていたら	発注側の次の動き
赤	「いいえ」、または未回答	改善の予定(いつまでに、何を)を委託先に聞く。機密情報を渡す前に確認する
黄	「一部」。または「はい」だが根拠が空欄。または「該当なし」だが理由がない	満たしていない評価基準No.か、根拠(規程名・ツール名)を聞き返す
緑	「はい」で根拠が書かれている。または「該当なし」で理由がある	特になし。必要なら証拠の提出を依頼する

- 見る順番は、赤の数ではなく、委託している業務に関わる設問からです。例えば個人情報を渡しているなら、取引先(No.5・6)と認証(No.13)を先に確認します
- 「はい」が並んでいても、根拠がすべて空欄なら黄として扱います
- 委託先ごとに1枚で報告するときは、区分(体制・取引先・資産など)ごとに、その区分の設問のうち一番弱い回答の色を載せます

送付メール文例

【】の中を書き換えて、そのまま送れます。

件名:セキュリティ対策の状況確認のお願い(ご回答期限:【月日】)

【委託先の会社名】

【ご担当者名】様

いつもお世話になっております。【自社名】の【氏名】です。

弊社では、業務をお願いしている取引先の皆さまに、
セキュリティ対策の状況を確認させていただいております。
お手数ですが、添付のチェックシートにご回答ください。

■内容

経済産業省の「サプライチェーン対策評価制度(SCS評価制度)」★3の
要求事項に沿った26問です。【追加シートも送る場合:加えて任意の17問があります。】

■ご回答のお願い

- ・期限:【月日】
- ・返信先:このメールに返信でかまいません
- ・未対応の項目は「いいえ」とそのままご回答ください。
現状を把握することが目的です
- ・証跡の提出は不要です。必要な場合は別途ご相談します

ご不明な点は、【自社の担当者名・連絡先】までご連絡ください。
どうぞよろしくお願いいたします。

【署名】

催促は、期限の3営業日前に「先日お送りしたチェックシートについて、【月日】までにご回答を
お願いできますでしょうか」の1文を1回送れば十分です。

回収後につまずきやすい所

つまずきやすいのは、送るときではなく回収したあとです。よくあるのは次の2つです。

つまずき	起きること	相談先
委託先が答えられない	「この項目はどう書けばいいか」という問い 合わせが発注側の担当者に集まる。回答が 遅れる	委託先が直接 moshiru.com/checksheet で相談できます。シートの各ページにも案内が あります
回収したシートを 読み切れない	委託先が数十社あると、色分けと聞き返しの 整理だけで数日かかる	色分けの一覧づくりは Moshiru にも 相談できます(info@moshiru.com)

Moshiruは、同じ取引について発注側と委託先の両方からの依頼は受けません。委託先の回答を手伝った取引では、発注側の読み取りを
引き受けません。その逆も同じです。

-

出典

- IPA「SCS評価制度 ★3・★4 要求事項・評価基準」(2026年3月27日版)
<https://www.ipa.go.jp/security/scs/rcu1hd0000007a2i-att/20260327001-c.xlsx>
- IPA「SCS評価制度の詳細」 <https://www.ipa.go.jp/security/scs/details.html>
- 経済産業省「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関する制度構築方針」(2026年3月27日)
<https://www.ipa.go.jp/security/scs/rcu1hd0000007ajp-att/20260327001-br.pdf>
- IPA 第3回運営委員会 説明資料(2026年9月11日) https://www.ipa.go.jp/security/scs/rcu1hd0000007af3-att/SCS-0911_BriefingMaterials_upd.pdf